

月	週	単元	小単元	時数	主な目標	重要 観点	評価方法	指導法 の工夫	学習のアドバイス
4	2	化学変化と原子・分子	1. 物質の成り立ち	35時間	化学変化についての実験を通して、化合・分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解するとともに、これらの事物・現象を原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方を養う。	① ③	定期テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度 忘れ物 など	小グループを活用した実験・観察の実施。発展的内容にも取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業を行う。	分解や化合の実験を通して、物質の変化について理解しよう。 物質が原子や分子からできていることを理解し、記号で表されていることを理解しよう。 実験やモデルを通して、化学反応の前後では質量が変化しないことを理解しよう。 実験やモデルを通して、化学反応が進むときは物質どうしが一定の割合で反応することを理解しよう。
	3								
	4								
	5		2. さまざまな化学変化						
5	1	動物のくらしとなかま	2. さまざまな化学変化	40時間	生物の体が細胞からできていることを観察を通して理解する。また、動物などについて観察、実験を通して、動物の体のつくりと働きを理解し、動物の生活と種類についての認識を深めるとともに、生物の変遷について理解する。	① ③	定期テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度 忘れ物 など	小グループを活用した実験・観察の実施。発展的内容にも取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業を行う。	生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞のつくりの特徴を見つけよう。 消化や呼吸、血液の循環についての観察、実験や動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、その体の各部のはたらきについて理解しよう。 せきつい動物の観察記録に基づいて、体のつくりや子の生まれ方などの特徴を比較、整理し、その分類の仕方を理解しよう。 現存の生物は過去の生物が変化して生じてきたものであることを体のつくりから理解しよう。
	2								
	3								
	4								
6	1	電流の性質とその理由	3. 化学変化と物質の質量の規則性	35時間	電流回路についての観察、実験を通して、電流と電圧との関係及び電流の働きについて理解するとともに、日常生活や社会と関連付けて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養う。	② ④	定期テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度 忘れ物 など	小グループを活用した実験・観察の実施。発展的内容にも取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業を行う。	稲妻(雷)などの身の回りの放電現象について理解しよう。 回路をつくり、電流に関する実験に意欲に取り組もう。 オームの法則等から、電流・電圧・抵抗・電力・発熱量等の計算ができるようになろう。 磁界とそのはたらきについて理解しよう。
	2								
	3								
	4								
7	1	天気の変化	1. 生物の体をつくる細胞	30時間	身近な気象の観察、観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見いだすとともに、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。	② ④	定期テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度 忘れ物 など	小グループを活用した実験・観察の実施。発展的内容にも取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業を行う。	気象観測を行い、観測方法や記録の仕方を身につけ、その観測記録と天気の関係を見つめる。 雲や霧の発生についての観察、実験を行い、そのできかたをで理解する。さらに、前線の通過に伴う天気の変化を理解する。 天気図や気象衛星画像から、日本の天気の特徴を気団と関連づけて理解する。
	2								
	3								
	4								
8	1	電流の性質とその理由	2. 生命を維持するはたらき	35時間	電流回路についての観察、実験を通して、電流と電圧との関係及び電流の働きについて理解するとともに、日常生活や社会と関連付けて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養う。	② ④	定期テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度 忘れ物 など	小グループを活用した実験・観察の実施。発展的内容にも取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業を行う。	稲妻(雷)などの身の回りの放電現象について理解しよう。 回路をつくり、電流に関する実験に意欲に取り組もう。 オームの法則等から、電流・電圧・抵抗・電力・発熱量等の計算ができるようになろう。 磁界とそのはたらきについて理解しよう。
	2								
	3								
	4								
9	1	天気の変化	3. 感覚と運動のしくみ	30時間	身近な気象の観察、観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見いだすとともに、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。	② ④	定期テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度 忘れ物 など	小グループを活用した実験・観察の実施。発展的内容にも取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業を行う。	気象観測を行い、観測方法や記録の仕方を身につけ、その観測記録と天気の関係を見つめる。 雲や霧の発生についての観察、実験を行い、そのできかたをで理解する。さらに、前線の通過に伴う天気の変化を理解する。 天気図や気象衛星画像から、日本の天気の特徴を気団と関連づけて理解する。
	2								
	3								
	4								
10	1	電流の性質とその理由	4. 動物のなかまと生物の進化	35時間	電流回路についての観察、実験を通して、電流と電圧との関係及び電流の働きについて理解するとともに、日常生活や社会と関連付けて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養う。	① ④	定期テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度 忘れ物 など	小グループを活用した実験・観察の実施。発展的内容にも取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業を行う。	稲妻(雷)などの身の回りの放電現象について理解しよう。 回路をつくり、電流に関する実験に意欲に取り組もう。 オームの法則等から、電流・電圧・抵抗・電力・発熱量等の計算ができるようになろう。 磁界とそのはたらきについて理解しよう。
	2								
	3								
	4								
11	1	天気の変化	1. 電流の性質	30時間	身近な気象の観察、観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見いだすとともに、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。	② ③	定期テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度 忘れ物 など	小グループを活用した実験・観察の実施。発展的内容にも取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業を行う。	気象観測を行い、観測方法や記録の仕方を身につけ、その観測記録と天気の関係を見つめる。 雲や霧の発生についての観察、実験を行い、そのできかたをで理解する。さらに、前線の通過に伴う天気の変化を理解する。 天気図や気象衛星画像から、日本の天気の特徴を気団と関連づけて理解する。
	2								
	3								
	4								
12	1	天気の変化	2. 電流の正体	30時間	身近な気象の観察、観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見いだすとともに、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。	② ④	定期テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度 忘れ物 など	小グループを活用した実験・観察の実施。発展的内容にも取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業を行う。	気象観測を行い、観測方法や記録の仕方を身につけ、その観測記録と天気の関係を見つめる。 雲や霧の発生についての観察、実験を行い、そのできかたをで理解する。さらに、前線の通過に伴う天気の変化を理解する。 天気図や気象衛星画像から、日本の天気の特徴を気団と関連づけて理解する。
	2								
	3								
	4								
1	2	天気の変化	3. 電流と磁界	30時間	身近な気象の観察、観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見いだすとともに、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。	① ④	定期テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度 忘れ物 など	小グループを活用した実験・観察の実施。発展的内容にも取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業を行う。	気象観測を行い、観測方法や記録の仕方を身につけ、その観測記録と天気の関係を見つめる。 雲や霧の発生についての観察、実験を行い、そのできかたをで理解する。さらに、前線の通過に伴う天気の変化を理解する。 天気図や気象衛星画像から、日本の天気の特徴を気団と関連づけて理解する。
	3								
	4								
	1		1. 空気中の水の変化						
2	1	天気の変化	2. 大気の動きと天気の変化	30時間	身近な気象の観察、観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見いだすとともに、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。	② ④	定期テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度 忘れ物 など	小グループを活用した実験・観察の実施。発展的内容にも取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業を行う。	気象観測を行い、観測方法や記録の仕方を身につけ、その観測記録と天気の関係を見つめる。 雲や霧の発生についての観察、実験を行い、そのできかたをで理解する。さらに、前線の通過に伴う天気の変化を理解する。 天気図や気象衛星画像から、日本の天気の特徴を気団と関連づけて理解する。
	2								
	3								
	4								
3	1	天気の変化	3. 大気の動きと日本の四季	30時間	身近な気象の観察、観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見いだすとともに、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。	① ④	定期テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度 忘れ物 など	小グループを活用した実験・観察の実施。発展的内容にも取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業を行う。	気象観測を行い、観測方法や記録の仕方を身につけ、その観測記録と天気の関係を見つめる。 雲や霧の発生についての観察、実験を行い、そのできかたをで理解する。さらに、前線の通過に伴う天気の変化を理解する。 天気図や気象衛星画像から、日本の天気の特徴を気団と関連づけて理解する。
	2								
	3								
	4								

評価の観点	①自然事象への関心・意欲・態度 ②科学的な思考・表現 ③観察・実験の技能 ④自然事象についての知識・理解
-------	--